

TRAIL

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第88号 令和7年3月14日発行

いわき市の経済・景気の動き

いわき市産業振興部

【全国景気動向】国内景気、回復基調保つ！ 今後、国内の個人消費の動向等、米大統領の政策の行方等に要注意！

● R6 年第四半期の実質 GDP(1 次速報値*。2/17) は、3 四半期連続プラスの個人消費の寄与で前期比 0.7% 増、年率換算で同 2.8% 増となった。

R6 年通年では、実質で同 0.1% と 4 年連続でプラス。経済活動の大きさを示す名目では同 2.9% 増。実額では 609 兆円と初めて 600 兆円を超えた。

*2 次速報値 (3/11) は 0.6% (年率 2.2%) に下方修正。

● 「月例経済報告 (2 月)」(2/19) の基調判断は、7 か月連続、同じ表現とした。GDP (2/17) は市場の予想を上回る高成長だったが、消費の伸びの弱さなどを踏まえ、上方修正を見送った。

先行きは、雇用・食環境が改善する下で、各種施策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、物価上昇、通商政策等米大統領の政策動向、中東情勢、金融資本市場等の影響に十分注意する必要がある、とした。

24/10-12月期GDP(%)		
区分	前期	今期
GDP(実質)	0.4	0.7
(年率換算)	(1.7)	(2.8)
個人消費	0.7	0.1
設備投資	▲0.1	0.5
政府消費	0.1	0.3
公共投資	▲1.1	▲0.3
輸出	1.5	1.1
輸入	2.0	▲2.1

今期は速報値。前期は確定値。

月例経済報告 (2 月) の概要	
基調判断	一部に足踏みが残るが緩やかに回復
個人消費	一部に足踏みが残るが持ち直し
設備投資	持ち直しの動き
住宅投資	概ね横ばい
輸出	持ち直しの動き
輸入	概ね横ばい
生産	横ばい
企業収益	総じて改善
雇用情勢	改善の動き
消費者物価	緩やかに上昇
先行き判断	緩やかな回復

注：太字は対前月で修正された内容。

【いわき市景気動向】前期からの“下降気味”が“やや深化” 先行きには不安感が！

いわき市の景気は、前期に引き続き “下降気味” となった。特に需要動向はすべての前期比がマイナス。景気の牽引役が不在になっている。足元の「景気ウォッチャー調査」(R7/2) でも“現状 DI” と“先行き DI” は、ともに判断の境目となる 50 割を割り、 “現状停滞” と “先行き期待感なし” であった。

● 経済・景気調査

【需要動向】大型店舗販売、自動車登録、新設住宅、公共工事、観光需要など、ほとんどの需要動向項目の前期比がマイナス。しかも 2 桁のものが多く、厳しい状況にある。

【企業動向】原表でみると、中小企業融資残高、信用保証承諾額、信用保証協会代位弁済等 “後ろ向き” の前期比がプラスであった (= 状況悪化)。掲載表の卸売市場取扱はマイナス。全体として状況が悪化している。

【雇用動向】新規求人倍率、有効求人倍率とも前月とあまり変わらない。

● 景気ウォッチャー調査 (R7 年 2 月)

“現状 DI” の全業種では 43.0 割と判断の境目となる 50 割を割り、ほとんどの項目の前期比がマイナス。“先行き DI” の全業種も 48.0 割と過半割れ。各項目の増減幅は小さく、先行き期待には大きな変化が無い。“自由意見” では相変わらず人材不足、物価高騰に絡むものが多い。

いわき市の動向 (R6/10-12月)		
区分	前期%	今期%
需要動向		
個人		
大型店舗販売	▲6.9	▲6.3
自動車登録	2.9	▲12.3
新設住宅	▲28.6	▲42.4
公共工事	23.2	▲51.8
観光施設利用者	9.7	▲28.5
企業動向		
卸売市場取扱	▲17.7	▲3.3
輸入通関実績	▲1.6	26.5
法人市民税	5.0	▲12.8
企業倒産件数	10件	6件
雇用		
新規求人倍率	2.18倍	2.31倍
有効求人倍率	1.20倍	1.25倍

注：前年同期比（ただし企業倒産件数は各期）

目次

【全国景気動向】国内景気、回復基調保つ！ 今後、国内の個人消費の動向等、米大統領の政策の行方等に要注意！

【いわき市景気動向】“前期からの” 下降気味” が “やや深化” 先行きには不安感が！

【経済・景気四方山記事】全国 6 件、いわき発 1 件

I 経済・景気調査：R6 年第四半期 (10~12 月)

1. 経済の動き (主要部門別・主要経済データ) . . . 3
2. 景気の動き (景気動向指数) 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：R7 年 2 月時点 16

景気ウォッチャー調査抜粋 (R7/2)

区分	現状判断 DI		先行判断 DI	
	今回	対差	今回	対差
全業種	43.0	▲ 4.3	48.0	▲ 0.1
家計	41.2	▲ 5.4	49.0	0.0
小売	43.0	▲ 3.7	46.0	▲ 1.8
飲食	43.8	▲ 6.2	56.3	2.1
サービス	39.7	▲ 7.2	51.5	1.5
住宅	35.0	▲ 6.7	50.0	4.2
企業	52.8	2.8	44.4	▲ 0.6
雇用	43.8	▲ 6.2	43.8	0.0

(産業チャレンジ課)

【経済・景気四方山記事】

(原情報の要約。意訳や筆者の解釈・所感を含む)

● 首相、「フューチャー・デザイン 2040」に関心！

12/23、十倉経団連会長は首相に「フューチャー・デザイン 2040」(経団連の政策提言。12/9)を説明した。このなかの目玉の一つである“重層的な広域連携”に強い関心がもたれた。具体的には ①道州圏域(概ね 500 万人程度)での施策展開、②中心都市、地域生活圏レベルでのレジリエント(屈することのない柔軟性のある圏域形成、コンパクトシティの形成等)、③地域生活圏の構築(人口 10 万人規模程度)からなる。(R6/12/24 日経新聞)

● 経産省、買い物難民の解消支援！

経産省が、「地域協同プラットフォーム構想」で過疎地の買い物や医療、教育等のサービスを維持できるようにする。すでに各地で取り組みが始まっているが、事業を担うプラットフォーム(組織)の資金面に課題がある。このため低利融資制度の創設や融資を受けやすくする規制緩和を検討する。先進事例としては、住民出資の株式会社が日用品の販売、高齢者の見守り災害対策を手掛ける取組み(奄美大島)や、廃業タクシー会社に代わり経済団体や個人らが会社を設立して地域の足を維持する取組み(須崎市)がある。(R7/1/13 日経新聞)

● あるべき地方創生とは！ - 3 識者の提言 -

表題について参考になる 3 者(①片山・大正大特任教授、②中里・上智大准教授、③山崎・中央大教授)の分析・提言を紹介する。(1)では①過去の自治体の戦略策定は外部委託が多く、②地域の主体が地域を題しあう過程が重要、③移住受け入れ競争や「安売り」への反省を。(2)では東京の出生率が低いのは人口移動が影響、②東京一極集中と少子化は分けて考えよう、③東京に対応できる都市創出へ重点投資を。(3)では①東京と他都道府県の対立をあおる政策は誤り、②地域からの輸出や輸入代替促進に注力を、③移送時や費用削減に交通網充実を急げ。(R6/1/20・21・22 日経新聞“経済教室”)

● 首相、“令和の日本列島改造”を打ち出す！

1/24 の石破首相の施政方針演説では、“令和の日本列島改造”と題し、①若者や女性に選ばれる地方(2 拠点活動支援、男女間の賃金格差是正)、②産学官に地方移転と創生(政府機関の移転促進)、③地方イノベーション創生構想(スタートアップ育

成 5 か年計画を強化)、④新時代のインフラ整備(産業や生活の拠点再配置を促進)、⑤広域リージョン連携(都道府県域を超えた広域連携の新たな枠組みを推進)が 5 柱述べられた。内容としては、以上のどれもが新しさに欠ける。先だって行うべきは、これまでの地方創生がうまく行っていない理由を検証すべきであろう。(R7/1/25 日経新聞)

● 東京一極集中強まる！

(「24 年人口移動調査」総務省。1/31)によれば、東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の転入超過は 13.6 万人で前年より 9 千人余り増加した(外国人含む)。賃上げ水準が東京の方が高いのが要因の一つ。ただ日本人に限って言えば、地方は人口減少に転じているため東京圏への転入は減少している。一方、東京圏から地方圏に転出した人も減少しここ 10 年で最低となった。地方に親類のいない家庭や地方に関心が乏しい層が増えていることや、地方転勤のない職種が増えていることが後押ししている可能性がある。大切なのは、首都圏と地方の往来を豊かにすることである。(R7/2/4 日経新聞社説)

● “令和臨調”、2050 年を見据え 6 政策提言！

“令和臨調”*の国土構造部会は、人口減少や自然災害に適応した持続可能な社会に向けて、多様な生き方・働き方へのパラダイムチェンジを求める以下 6 つの政策提言を公表した。①生き方・働き方の改革、②所有権・利用権の改革、③地方自治改革、④国土の分散と集約、⑤教育の多様化改革、⑥実行機関の設立。なお、外国人については、現在の就労中心型の政策だけでなく住民としての受け入れ策を検討すべきとしている。(R7/2/5 日経新聞)

* 正式名は、令和国民会議。経済界。労働界、学識者、国会議員等有志 100 人超による政策提言団体。R4 年 6 月発足。統治構造改革、財政・社会保障、令和の国土構造の 3 部会がある。

● 【いわき市発】いわき駅前大通りが県内初「ほこみち」に指定！

JR いわき駅前の国道 399 号が、県内で初めて歩行者利便増進道路(“ほこみち”)に指定された。指定に向けては、令和 5 年度から 3 回、県、市、まちづくり団体などが社会実験を実施してきた。指定されると、道路の使用条件が緩和され、歩道にテーブルやイスを設置するなど道路空間を自由に活用できるようになる。今後はさらなる賑わいの創出や、エリア価値の向上が期待される。(R7/2/27 産業チャレンジ課)

東日本国際大学名誉教授 大川信行

I 経済・景気調査：令和6年第四半期（10～12月）

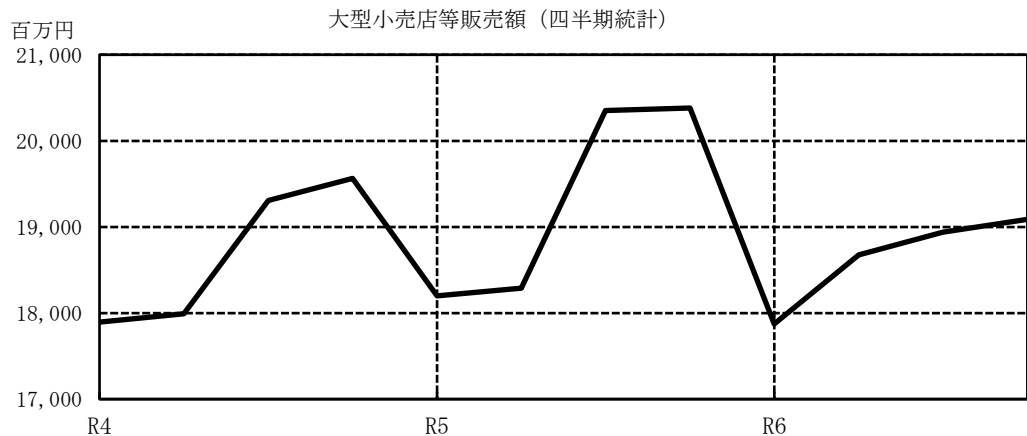
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和6年第四半期（10～12月）の状況）

① 需要動向

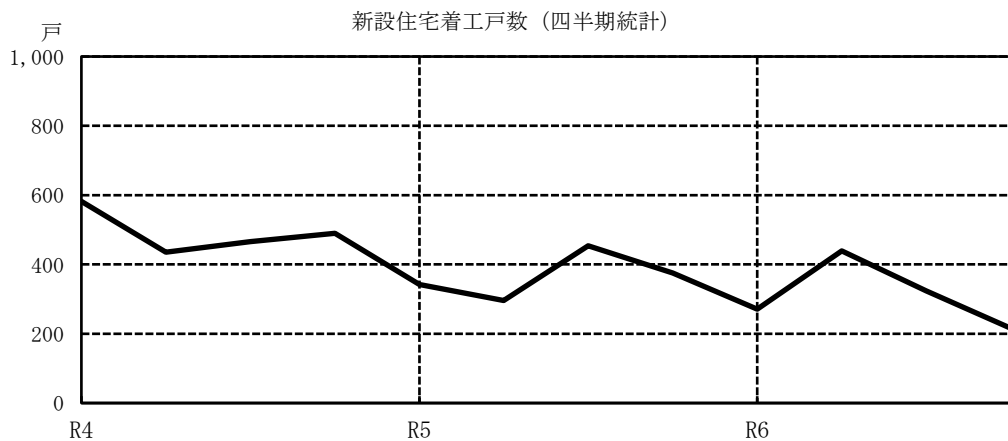
【個人消費】 ○ 第四半期（10～12月）の大型小売店等販売額は約191億円（前年同期比6.3%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は3,939台（前年同期比12.3%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は216戸（前年同期比42.4%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 公共工事等受注額は約41億円（前年同期比51.8%の減少）となり、5四半期振りに前年の水準を下回った。

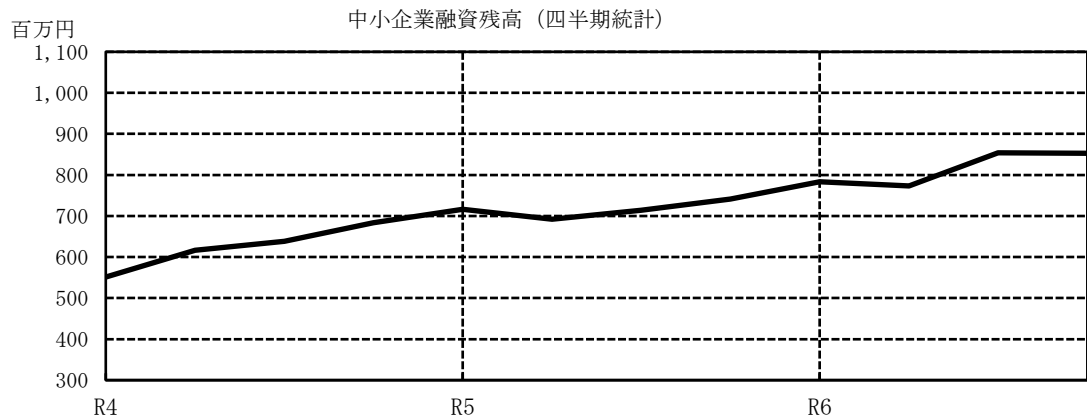


【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、78.7（前年同期比28.5%の低下）となり、令和3年第4四半期以降、12四半期振りに前年の水準を下回った。

② 企業動向

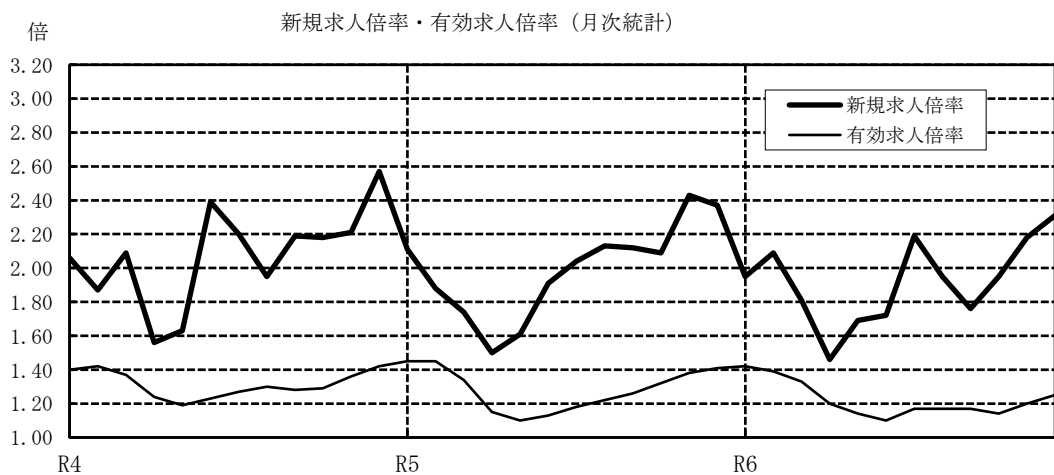
- 第四半期（10～12月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約47億円（前年同期比3.3%の減少）となり、4四半期連続で前年の水準を下回った。

- 【企業活動】
- いわき市中小企業融資残高は約8.5億円（前年同期比15.0%の増加）となり、令和4年第2四半期以降、11四半期連続で前年の水準を上回った。
 - 負債1千万円以上の企業倒産件数は6件（前年同期と同件数）となった。



③ 雇用情勢

- 【雇 用】
- 12月の新規求人倍率は2.31倍（前年同月より0.06ポイントの低下）となり、5ヵ月連続で前年の水準を下回った。
 - 12月の有効求人倍率は1.25倍（前年同月より0.16ポイントの低下）となり、7ヵ月連続で前年の水準を下回った。
 - 第四半期（10～12月）の雇用保険受給者実人員は3,385人（前年同期と同人数）となった。



(2) 主要経済データ

区 分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小 売店等 販売額	前年 同期比	自動車 新規登 録台数	前年 同期比	新設住 宅着工 戸数	前年 同期比	建築確 認申請 受付件 数	前年 同期比	公共工 事等受 注額	前年 同期比	観光施設利 用者指数		入湯税 調定人 員	
											(H24・四 半期平均 =100)	前年 同期比	(人)	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)		(%)
【年次統計】														
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3
令和5年	77,220	3.3	17,639	16.5	1,467	-25.6	1,310	11.4	25,367	-26.1	352	30.1	548,789	34.6
令和6年	74,574	-3.4	15,616	-11.5	1,250	-14.8	1,344	2.6	28,591	12.7	344	-2.5	550,533	0.3
【四半期統計】														
令和5年 I	18,198	1.7	5,098	10.9	342	-41.2	241	0.8	3,413	-67.6	61.7	42.0	142,714	61.3
II	18,288	1.6	3,935	25.8	296	-32.0	357	21.4	6,235	9.7	70.7	12.9	122,181	41.2
III	20,353	5.4	4,114	12.9	454	-2.6	385	22.6	7,307	-45.1	110.1	15.7	139,990	14.1
IV	20,381	4.2	4,492	18.9	375	-23.5	327	-0.6	8,412	75.7	110.1	57.8	143,904	30.8
令和6年 I	17,873	-1.8	4,012	-21.3	271	-20.8	314	30.3	8,071	136.5	68.7	11.5	131,586	-7.8
II	18,675	2.1	3,433	-12.8	439	48.3	354	-0.8	7,461	19.7	75.5	6.8	126,066	3.2
III	18,939	-6.9	4,232	2.9	324	-28.6	359	-6.8	9,004	23.2	120.8	9.7	147,307	5.2
IV	19,088	-6.3	3,939	-12.3	216	-42.4	317	-3.1	4,054	-51.8	78.7	-28.5	145,574	1.2
【月次統計】														
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6
4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	113	79.4	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	142	18.3	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2
7月	6,809	4.5	1,315	8.0	123	-34.6	146	80.2	2,775	-39.9	29.7	14.3	36,886	17.2
8月	7,148	6.1	1,176	18.3	119	19.0	133	13.7	1,479	-64.4	54.8	25.0	40,640	9.3
9月	6,396	5.7	1,623	13.4	212	19.1	106	-8.6	3,053	-32.9	25.6	1.2	62,464	15.5
10月	6,372	1.6	1,645	36.1	110	-25.2	110	-5.2	4,749	84.0	29.7	18.5	46,919	5.9
11月	6,112	-1.0	1,585	13.7	150	25.0	120	3.4	2,046	74.7	54.8	151.7	49,675	14.7
12月	7,897	10.9	1,262	7.5	115	-48.4	97	0.0	1,617	56.0	25.6	11.6	47,310	111.4
令和6年1月	5,941	-3.1	1,203	-16.6	92	3.4	92	12.2	1,594	638.0	21.3	12.2	43,048	-26.3
2月	5,741	1.8	1,184	-23.5	84	-14.3	98	7.7	383	-44.0	20.5	19.6	40,149	11.9
3月	6,190	-3.7	1,625	-22.9	95	-38.7	124	82.4	6,094	142.5	26.9	5.5	48,389	0.0
4月	6,086	0.5	1,124	-13.0	174	100.0	124	21.6	1,418	14.9	22.1	9.9	52,099	14.2
5月	6,318	1.3	1,076	-12.8	126	90.9	129	14.2	1,265	157.6	28.9	-0.9	38,612	3.3
6月	6,271	4.6	1,233	-12.5	139	-2.8	101	-28.9	4,778	5.9	24.4	14.4	35,355	-9.8
7月	6,186	-9.2	1,479	12.5	81	-34.1	126	-13.7	2,918	5.1	31.9	7.5	41,179	11.6
8月	6,848	-4.2	1,152	-2.0	119	0.0	123	-7.5	1,905	28.8	57.7	5.3	45,341	11.6
9月	5,905	-7.7	1,601	-1.4	124	-41.5	110	3.8	4,182	37.0	31.2	21.8	60,787	-2.7
10月	5,923	-7.0	1,431	-13.0	47	-57.3	118	7.3	2,355	-50.4	26.9	-9.4	46,815	-0.2
11月	5,821	-4.8	1,402	-11.5	87	-42.0	103	-14.2	1,102	-46.2	27.1	-50.6	50,690	2.0
12月	7,344	-7.0	1,106	-12.4	82	-28.7	96	-1.0	598	-63.0	24.7	-3.5	48,069	1.6
出典：	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分 年 月	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高	前年 同期比	小名浜港 輸入通関 実績	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資残高	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資利率	前年 同月比	信用保 証承諾 額	前年 同期比	信用保 証協会 代位弁 済	前年 同期比	法人市 民税調 定額	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%)p	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
令和5年	16,040	7.8	530,374	-15.0	716	15.0	1.62	-0.2	26,677	24.6	932	26.3	3,359	-6.1
令和6年	14,866	-7.3	519,144	-2.1	816	14.0	2.00	0.4	25,846	-3.1	1,675	79.8	3,298	-1.8
【四半期統計】														
令和5年 I	3,446	9.4	152,954	48.6	716	29.9	1.99	-0.03	8,506	30.1	223	-15.8	502	9.3
II	3,740	13.3	133,582	-16.9	692	12.3	1.21	-0.12	4,815	38.7	117	132.1	985	-17.8
III	4,011	8.1	140,384	-15.8	714	11.8	1.99	-0.04	6,906	16.8	255	5.2	857	17.9
IV	4,843	2.6	103,454	-46.6	741	8.4	1.28	-0.50	6,450	17.5	337	86.7	1,016	-14.8
令和6年 I	3,440	-0.2	104,991	-31.4	783	9.4	1.97	-0.02	6,270	-26.3	334	49.5	452	-9.9
II	3,442	-8.0	145,149	8.7	774	11.8	1.98	0.77	6,120	27.1	254	117.3	1,060	7.6
III	3,302	-17.7	138,088	-1.6	854	19.6	1.90	-0.09	6,803	-1.5	612	140.1	900	5.0
IV	4,682	-3.3	130,916	26.5	853	15.0	2.16	0.88	6,654	3.2	475	41.1	886	-12.8
【月次統計】														
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
7月	1,375	7.8	42,781	-7.5	679	7.4	2.10	-0.02	2,799	64.4	215	110.1	400	16.8
8月	1,334	4.4	42,704	-29.1	703	11.8	1.95	-0.25	2,343	66.1	33	678.3	370	25.6
9月	1,302	12.4	54,899	-8.9	760	15.9	1.92	0.15	1,764	-37.0	7	-94.8	86	-3.2
10月	1,303	3.7	19,947	-70.5	750	9.8	1.50	-0.20	1,862	31.1	158	12.5	138	22.6
11月	1,334	4.2	33,244	-40.9	731	8.5	1.28	-0.93	1,565	4.6	148	2,037.8	792	-20.3
12月	2,206	1.0	50,263	-28.2	743	7.0	1.05	-0.38	3,024	17.6	30	-7.6	86	-1.4
令和6年1月	1,038	-4.7	35,018	-30.5	787	12.4	1.70	-0.30	1,776	16.2	217	10,712.8	103	13.1
2月	1,170	9.2	28,343	-37.7	776	5.8	2.00	-0.20	2,033	-11.4	91	1.5	124	-0.7
3月	1,232	-4.1	41,630	-27.1	787	10.0	2.20	0.44	2,460	-47.4	25	-80.7	225	-21.2
4月	1,210	-0.6	54,637	40.5	755	7.7	1.89	0.86	1,412	26.6	56	7,180.1	157	3.9
5月	1,157	-8.2	39,120	-17.1	771	11.2	2.20	0.65	1,840	11.2	60	-48.2	310	2.0
6月	1,075	-14.9	51,392	8.1	794	16.7	1.86	0.81	2,867	40.3	138	-	594	11.9
7月	1,252	-9.0	46,180	7.9	850	25.2	2.05	-0.05	2,653	-5.2	448	108.3	440	10.1
8月	868	-34.9	48,594	13.8	857	22.0	2.20	0.25	1,651	-29.5	133	305.2	350	-5.6
9月	1,182	-9.2	43,314	-21.1	855	12.5	1.44	-0.48	2,499	41.7	31	341.7	110	27.3
10月	1,195	-8.3	51,063	156.0	857	14.2	2.20	0.70	2,190	17.6	179	13.3	112	-18.7
11月	1,336	0.1	37,802	13.7	857	17.3	2.20	0.93	1,996	27.6	103	-30.4	689	-13.0
12月	2,151	-2.5	42,051	-16.3	843	13.5	2.07	1.02	2,467	-18.4	193	539.4	85	-1.5
出典：	いわき市中央 卸売市場（水 産）		横浜税関		いわき市産業戦略課（年次 統計は12カ月の平均値、四半 期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月 は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民 税課（法人税 割）	

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年 月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
令和5年	16	23.1	4,649	171.2	-	-	-	-	-	-
令和6年	31	93.8	5,110	9.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和5年 I	3	-25.0	95	-83.6	-	-	-	-	-	-
II	5	400.0	2,871	501.9	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	165	20.4	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	1,518	190.8	-	-	-	-	-	-
令和6年 I	8	166.7	1,480	1,457.9	-	-	-	-	-	-
II	7	40.0	1,982	-31.0	-	-	-	-	-	-
III	10	400.0	1,081	555.2	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	567	-62.6	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
7月	1	0.0	15	-88.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	150	1,400.0	-	-	-	-	-	-
9月	0	-	0	-	-23.4	-37.5	-27.3	-50.0	-12.5	-28.3
10月	2	-33.3	270	22.7	-	-	-	-	-	-
11月	3	50.0	516	76.7	-	-	-	-	-	-
12月	1	0.0	732	7,220.0	-24.1	16.6	0.0	-44.4	0.0	-16.6
令和6年1月	3	-	320	-	-	-	-	-	-	-
2月	4	-	650	-	-	-	-	-	-	-
3月	1	-66.7	510	436.8	-6.9	0.0	-41.7	-20.0	-12.5	-14.7
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	5	-	1,390	-	-	-	-	-	-	-
6月	2	-60.0	592	-79.4	-18.7	-44.5	0.0	-11.1	-14.3	-17.7
7月	3	200.0	129	760.0	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	60	-60.0	-	-	-	-	-	-
9月	6	-	892	-	-6.5	0.0	-15.4	0.0	-11.1	-7.2
10月	3	50.0	321	18.9	-	-	-	-	-	-
11月	3	0.0	246	-52.3	-	-	-	-	-	-
12月	0	-100.0	0	-100.0	-14.8	-11.1	-16.6	-12.5	0.0	-12.3
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター（前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比（各月末時点）） 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分 年 月	雇用						その他					
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)			
	(倍)	前年 同期比 (%p)	(倍)	前年 同期比 (%p)	(人)	前年 同期比 (%)	(千台)	(%)	家計動向	企業動向	雇用関連	総合
【年次統計】												
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-
令和5年	1.97	-0.05	1.27	-0.04	13,914	-1.1	8,331	6.1	-	-	-	-
令和6年					13,340	-4.1	8,626	3.5				
【四半期統計】												
令和5年 I	-	-	-	-	3,220	-0.9	1,936	10.8	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,513	0.8	2,018	3.2	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,796	-2.3	2,218	6.2	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,385	-1.9	2,159	4.5	-	-	-	-
令和6年 I	-	-	-	-	3,075	-4.5	2,038	5.3	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,280	-6.6	2,100	4.1	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,600	-5.2	2,299	3.7	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,385	0.0	2,189	1.4	-	-	-	-
【月次統計】												
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-
4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-
7月	2.04	-0.16	1.18	-0.09	1,258	0.2	733	6.4	-	-	-	-
8月	2.13	0.18	1.22	-0.08	1,326	-3.1	800	10.1	56.1	36.7	53.6	51.8
9月	2.12	-0.07	1.26	-0.02	1,212	-3.8	684	1.9	-	-	-	-
10月	2.09	-0.09	1.32	0.03	1,225	2.3	721	2.3	-	-	-	-
11月	2.43	0.22	1.38	0.02	1,111	-2.5	719	5.8	54.2	38.3	50.0	50.4
12月	2.37	-0.20	1.41	-0.01	1,049	-5.8	719	5.6	-	-	-	-
令和6年1月	1.95	-0.16	1.42	-0.03	1,057	-3.3	660	5.6	-	-	-	-
2月	2.09	0.21	1.39	-0.06	1,044	-0.8	649	9.2	56.5	40.4	43.8	52.4
3月	1.81	0.07	1.33	-0.01	974	-9.4	729	1.8	-	-	-	-
4月	1.46	-0.04	1.20	0.05	1,045	-3.5	696	4.9	-	-	-	-
5月	1.69	0.08	1.14	0.04	1,100	-8.5	720	2.5	54.7	42.3	40.0	51.1
6月	1.72	-0.19	1.10	-0.03	1,135	-7.6	685	4.9	-	-	-	-
7月	2.19	0.15	1.17	-0.01	1,234	-1.9	764	4.1	-	-	-	-
8月	1.95	-0.18	1.17	-0.05	1,181	-10.9	811	1.3	49.5	37.5	58.3	47.9
9月	1.76	-0.36	1.17	-0.09	1,185	-2.2	724	5.9	-	-	-	-
10月	1.95	-0.14	1.14	-0.18	1,217	-0.7	751	4.0	-	-	-	-
11月	2.18	-0.25	1.20	-0.18	1,081	-2.7	730	1.6	49.0	45.0	43.8	48.1
12月	2.31	-0.06	1.25	-0.16	1,087	3.6	708	-1.6	-	-	-	-
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業チャレンジ課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。			

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和6年第四半期（10～12月）の状況）

（１）ＣＩ（コンポジット・インデックス）

① 概要

12月のCIは、先行指数が115.2、一致指数が140.3、遅行指数が141.1となった。

② 指数別の動向（指数は令和2年の水準を100とする）

【先行指数】 12月は115.2ポイントで、2ヵ月振りに低下した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月連続）、建築確認申請受付件数（2ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、中小企業D I（全業種）（3ヵ月振り）、自動車新規登録台数（3ヵ月連続）等の5指標であった。

【一致指数】 12月は140.3ポイントで、6ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業生産指数（2ヵ月振り）、鉱工業出荷指数（3ヵ月振り）等の4指標、マイナスの指標は、いわき市中小企業融資残高（3ヵ月振り）、観光施設利用者指数（2ヵ月振り）等の5指標であった。

【遅行指数】 12月は141.1ポイントで、3ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫指数（2ヵ月振り）、いわき市中小企業融資利率（3ヵ月連続）等の4指標、マイナスの指標は、入湯税調定人員（2ヵ月振り）、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）等の3指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（令和2年=100）

区 分		令和6年											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
先 行 指 数（C I）		108.5	109.1	112.1	120.4	121.5	114.8	124.8	121.8	118.5	116.9	118.4	115.2
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-3.45	0.58	2.96	8.36	1.1	-6.75	10.01	-2.93	-3.39	-1.55	1.49	-3.22
先行 系列 寄与 度 内 訳	1. 自動車新規登録台数	-4.34	-2.70	2.92	4.52	1.14	1.66	3.71	-0.82	0.02	-0.67	-1.20	-1.25
	2. 新設住宅着工戸数	-0.11	-0.88	0.62	2.19	-0.51	-0.96	-1.88	1.83	-0.83	-3.41	2.62	-0.16
	3. 建築確認申請受付件数	-0.10	-0.19	1.24	0.23	1.00	-4.90	3.21	0.14	-1.14	0.14	-0.95	0.06
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-0.44	1.69	-1.17	1.12	-1.06	0.65	-0.38	-0.83	2.05	-0.33	0.24	0.40
	5. 中小企業D I（全業種）	0.12	0.12	0.41	0.08	0.09	-0.48	0.08	0.08	-1.26	0.08	0.08	-2.05
	6. 新規求人倍率	1.15	1.68	-1.44	-0.11	0.54	-3.09	4.89	-2.64	-2.60	2.10	0.32	-0.59
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.02	0.58	-0.04	-0.04	-0.49	-0.06	-0.06	-1.15	-0.04	-0.03	0.02	-0.03
	8. 一致指数トレンド成分	0.28	0.27	0.42	0.37	0.37	0.43	0.45	0.46	0.42	0.57	0.36	0.40
一 致 指 数（C I）		135.6	137.7	140.5	146.1	140.8	145.3	145.1	144.9	142.4	141.4	140.1	140.3
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-0.10	2.12	2.72	5.69	-5.35	4.51	-0.21	-0.15	-2.51	-1.03	-1.29	0.18
一 致 系 列 寄 与 度 内 訳	1. 公共工事受注額	1.14	-0.21	2.55	0.17	0.60	0.22	0.13	0.34	0.81	-1.64	-0.65	-0.72
	2. 観光施設利用者指数	0.12	0.16	-0.70	0.46	-0.64	1.05	-0.05	0.33	0.05	-0.42	0.41	-0.78
	3. 大型小売店等販売額	-2.46	1.55	-1.76	1.35	0.27	1.06	-2.65	1.65	-1.16	0.19	0.74	-0.74
	4. 鉱工業生産指数	0.19	2.46	-0.80	1.67	-2.61	0.55	-1.73	0.80	0.00	1.13	-2.04	2.11
	5. 鉱工業出荷指数	0.07	2.18	-0.02	1.03	-2.60	0.25	0.42	-0.89	0.53	-0.13	-0.04	1.87
	6. 小名浜港輸入通関実績	-1.15	-0.67	1.46	0.76	-0.80	1.05	-0.19	0.28	-0.24	0.58	-0.28	0.23
	7. いわき市中小企業融資残高	1.72	-2.19	1.37	-0.85	1.15	1.83	2.53	-1.23	-2.66	0.52	0.98	-1.36
	8. 有効求人倍率	0.14	-1.38	1.53	0.25	-0.26	-1.87	0.99	-0.57	-0.31	-1.22	0.10	0.08
	9. 高速道路出入交通量	0.12	0.23	-0.92	0.84	-0.45	0.38	0.32	-0.85	0.46	-0.05	-0.49	-0.51
遅 行 指 数（C I）		132.2	138.3	141.8	148.9	136.4	134.6	135.4	134.7	131.0	132.6	137.7	141.1
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-1.96	6.11	3.49	7.13	-12.53	-1.78	0.83	-0.70	-3.65	1.54	5.14	3.35
遅 行 系 列 寄 与 度 内 訳	1. 入湯税調定人員	-1.39	1.09	0.67	2.15	-2.66	-1.46	1.91	0.53	-0.81	-0.35	0.67	-1.20
	2. いわき市中央卸売市場取扱高	-3.39	4.02	-3.30	-0.45	-1.21	-1.98	0.87	-4.22	3.97	-1.04	2.99	-1.16
	3. 鉱工業在庫指数	0.91	1.04	2.30	-0.28	-4.61	-0.54	1.34	-0.51	-2.04	0.22	-0.51	2.89
	4. いわき市中小企業融資利率	0.84	1.14	1.98	4.36	-3.57	2.67	-4.20	1.16	-2.95	4.01	1.95	1.81
	5. 法人市民税調定額	-0.10	-0.85	0.06	1.07	-0.60	-1.08	1.34	-0.22	0.82	-1.17	-0.70	1.14
	6. 雇用保険受給者実人員（逆）	0.82	-0.67	1.24	-0.18	-0.32	0.14	-0.94	2.04	-3.09	-0.78	0.33	-0.61
	7. 一致指数トレンド成分	0.34	0.33	0.54	0.47	0.44	0.49	0.51	0.51	0.46	0.64	0.41	0.48

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

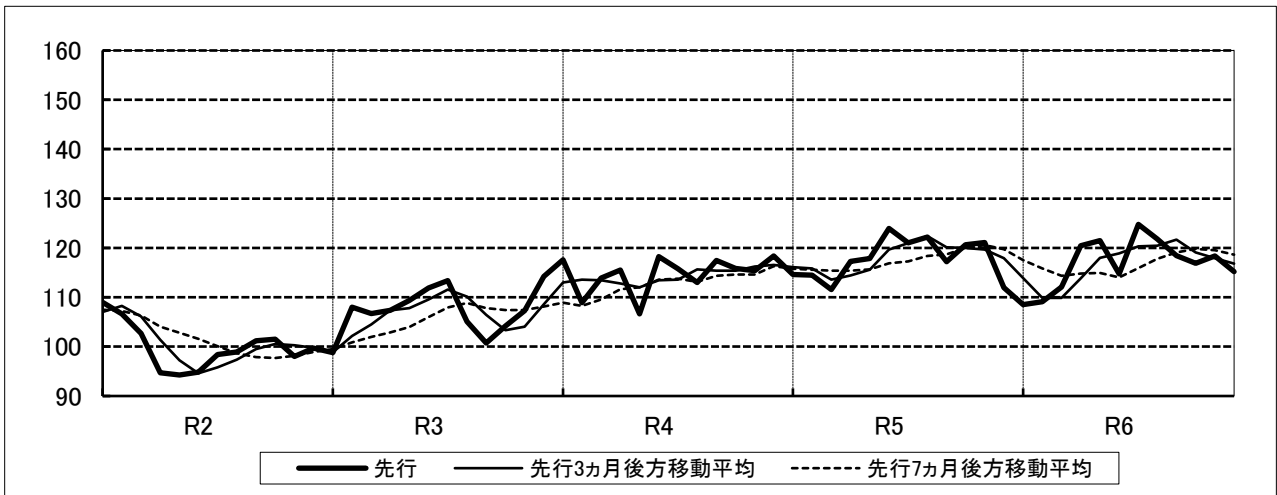
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

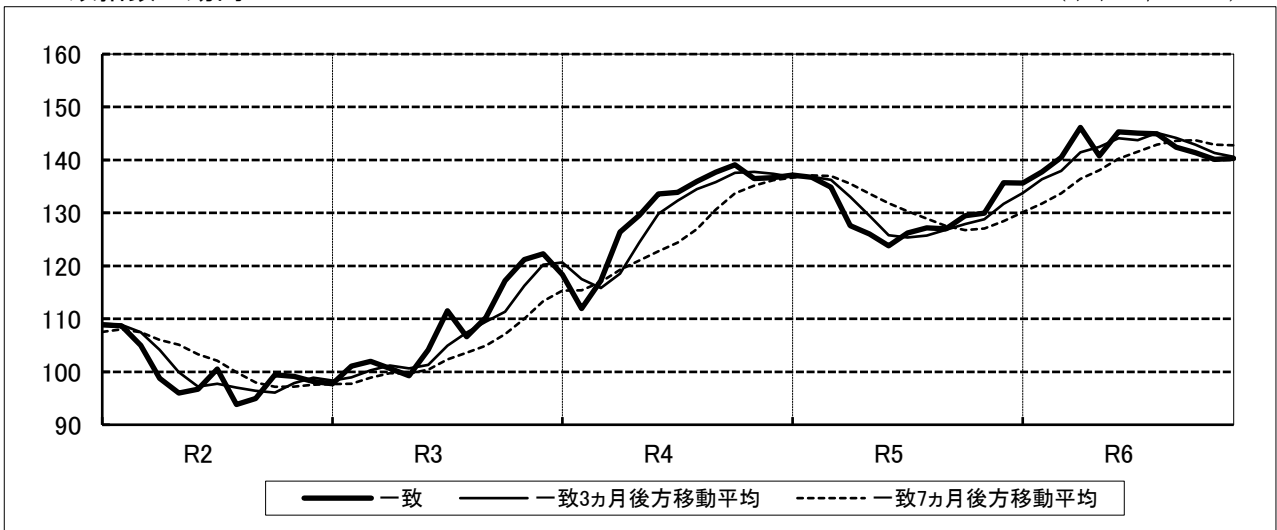
・先行指数の推移

(令和2年＝100)



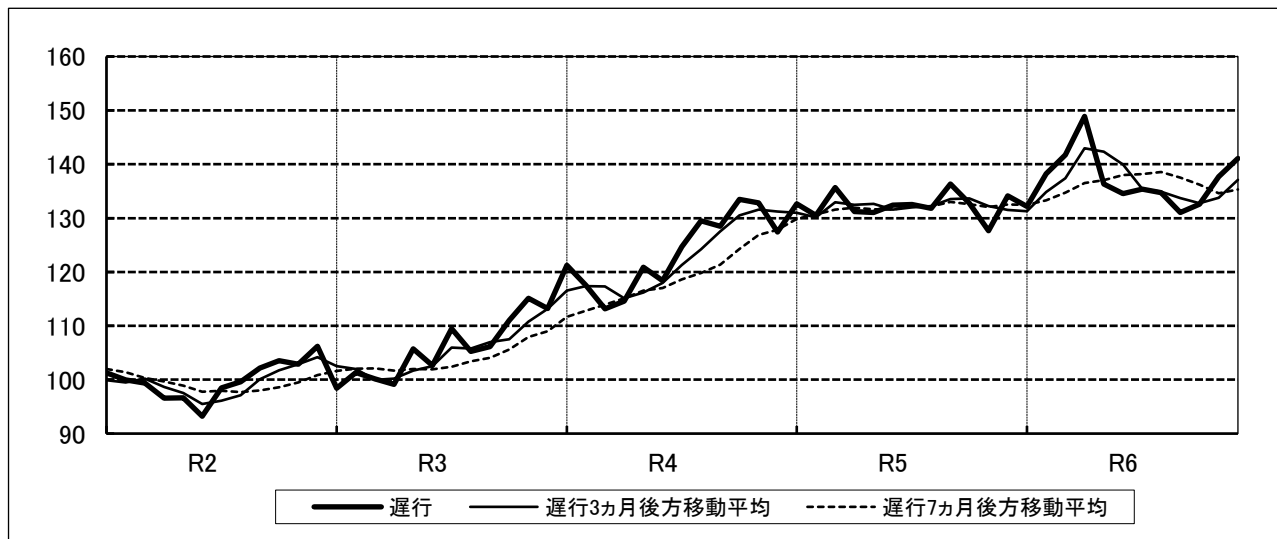
・一致指数の動向

(令和2年＝100)



・遅行指数の動向

(令和2年＝100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	138.5	127.9	133.4	126.2	123.2	126.9	126.2	125.0	125.1	124.5	124.9	117.5
28	120.7	113.7	106.7	115.6	114.3	108.9	116.2	110.4	105.3	111.2	110.7	114.9
29	109.0	112.5	113.6	116.7	113.5	122.0	113.8	120.3	123.0	114.7	114.3	120.8
30	118.2	115.2	112.4	114.0	115.2	115.1	114.3	112.8	108.5	111.9	116.9	113.2
1	110.7	116.9	114.8	111.1	112.9	113.6	108.5	109.0	110.7	103.0	103.1	109.1
2	109.0	106.6	102.7	94.7	94.3	94.8	98.4	99.0	101.2	101.5	98.0	99.7
3	98.8	108.0	106.7	107.3	109.4	111.9	113.4	105.1	100.7	104.2	107.3	114.2
4	117.6	108.9	113.9	115.5	106.6	118.3	115.8	113.0	117.4	115.8	115.4	118.4
5	114.6	114.5	111.6	117.3	117.9	123.9	121.0	122.2	117.2	120.7	121.1	112.0
6	108.5	109.1	112.1	120.4	121.5	114.8	124.8	121.8	118.5	116.9	118.4	115.2

・一致指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	146.7	145.1	143.6	145.7	144.8	141.8	143.5	143.9	143.7	137.8	136.4	134.6
28	134.0	132.5	124.1	128.1	123.8	128.2	129.6	124.8	128.5	134.5	138.2	139.9
29	136.5	136.4	137.6	136.0	137.4	135.9	129.6	131.3	129.6	126.6	129.2	132.9
30	127.6	126.1	122.9	120.6	120.6	115.1	114.4	114.8	114.9	112.6	109.1	106.3
1	106.9	109.3	111.2	113.6	110.3	109.2	105.3	109.0	108.8	102.4	109.4	109.1
2	108.8	108.7	105.0	98.8	96.0	96.7	100.5	93.8	94.9	99.4	99.2	98.1
3	97.7	101.0	102.0	100.6	99.3	104.1	111.5	106.6	110.3	117.2	121.2	122.3
4	118.4	112.0	117.2	126.4	129.5	133.6	133.9	136.0	137.7	139.1	136.5	136.7
5	137.2	136.7	134.9	127.6	126.0	123.8	126.2	127.2	127.0	129.5	129.9	135.7
6	135.6	137.7	140.5	146.1	140.8	145.3	145.1	144.9	142.4	141.4	140.1	140.3

・遅行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	150.4	150.0	158.1	153.7	152.5	147.2	150.2	146.7	147.6	147.1	141.6	141.0
28	139.6	145.3	139.2	137.7	134.6	132.3	131.8	133.7	130.6	133.3	129.2	127.7
29	131.7	122.5	128.3	124.0	118.4	117.5	116.5	113.3	118.5	115.0	117.8	121.1
30	114.6	114.9	120.9	117.7	125.2	120.7	117.3	117.7	121.8	117.8	114.7	111.5
1	112.6	110.4	109.2	104.9	102.7	105.7	104.2	106.9	100.8	102.2	101.1	97.3
2	101.3	100.0	99.4	96.6	96.7	93.2	98.5	99.6	102.2	103.6	102.9	106.2
3	98.4	101.3	100.2	99.2	105.7	102.6	109.5	105.3	106.2	111.0	115.1	113.2
4	121.3	117.6	113.2	114.6	120.9	118.4	124.7	129.5	128.5	133.5	132.8	127.4
5	132.7	130.5	135.7	131.2	131.1	132.4	132.5	131.8	136.3	132.8	127.6	134.1
6	132.2	138.3	141.8	148.9	136.4	134.6	135.4	134.7	131.0	132.6	137.7	141.1

(2) DI (デフュージョン・インデックス)

① 概要

【先行指数】 12月は、42.9%と3ヵ月連続で50%を下回った。

【一致指数】 12月は、55.6%と6ヵ月振りに50%を上回った。

【遅行指数】 12月は、50.0%と保ち合いとなった。

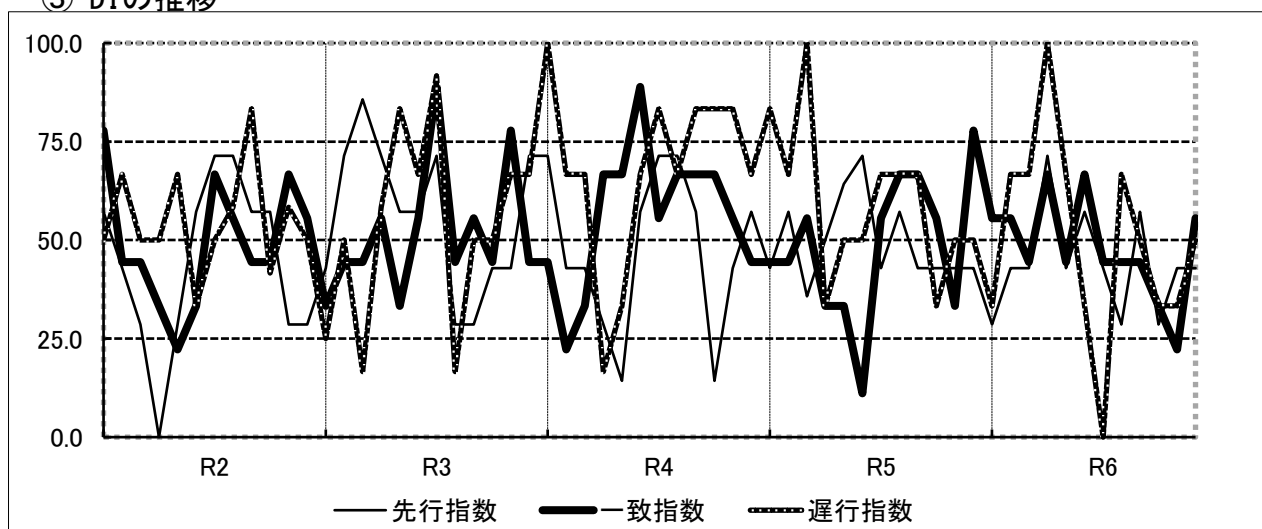
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

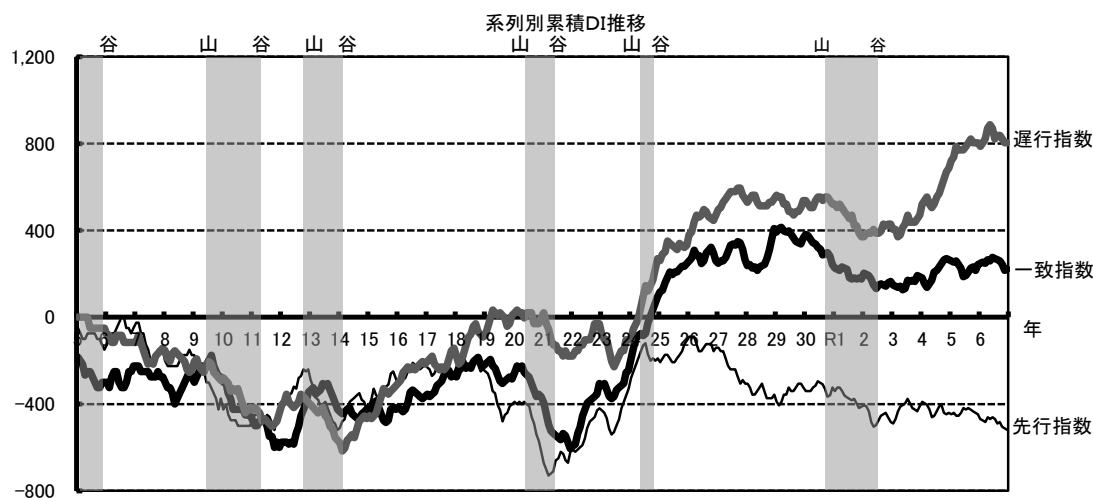
区 分	令和6年											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
先 行 指 数 (D . I)	28.6	42.9	42.9	71.4	42.9	57.1	42.9	28.6	57.1	28.6	42.9	42.9
一 致 指 数 (D . I)	55.6	55.6	44.4	66.7	44.4	66.7	44.4	44.4	44.4	33.3	22.2	55.6
遅 行 指 数 (D . I)	33.3	66.7	66.7	100.0	66.7	33.3	0.0	66.7	50.0	33.3	33.3	50.0

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

累積DI(t)=累積DI(t-1)+(DI(t)-50)

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方方向性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。

- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している。

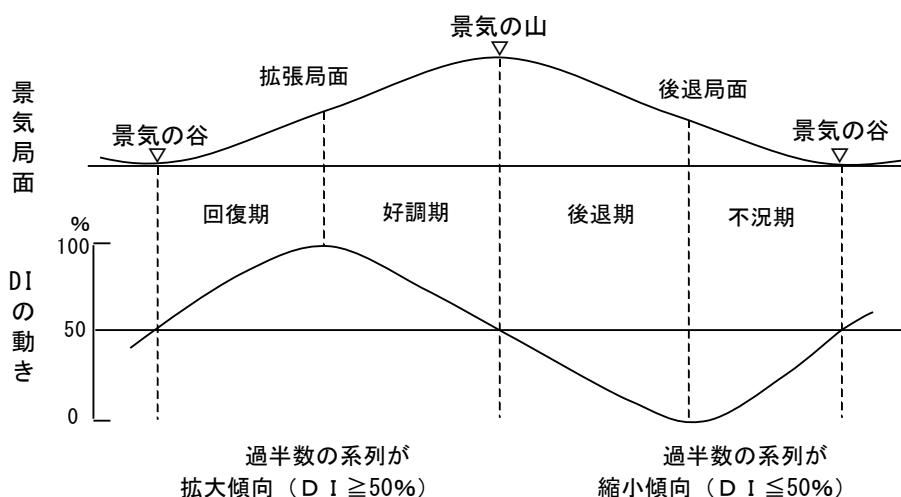
（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。

- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 \approx 0.333$ （DI=33.3%）と計算する。

- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S 26. 6.	S 26. 10.	第9循環	S 52. 10.	S 55. 2.	S 58. 2.
第2循環	S 26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R 2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目			内 容	原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均
逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	(我が国経済の基調判断) 景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。 ・個人消費は、一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、横ばいとなっている。 ・企業収益は、総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている。企業の業況判断は、改善している。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、上昇している。 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 (内閣府「月例経済報告」令和7年2月公表分)
(2) 県の動向	県内の景気は、足踏み状態となっている。 ・個人消費……一部に弱い動きがみられる。 ・建設需要……一部に弱い動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……一部に弱い動きがみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」令和7年2月公表分)

2 景気動向指数(CI)

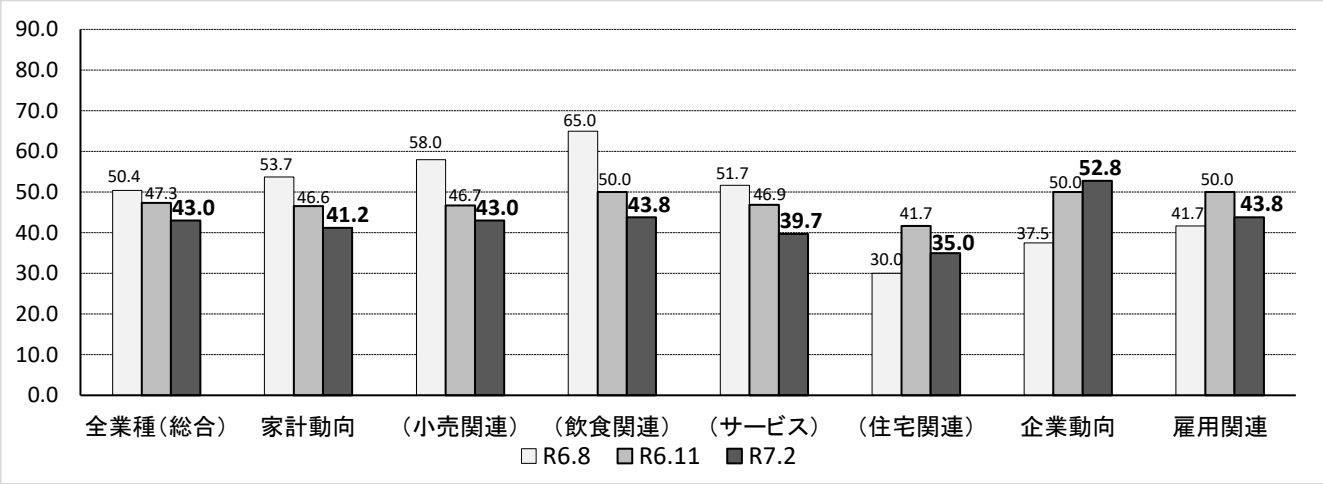
(1) 国の動向	① 12月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:108.9、一致指数:116.8、遅行指数:107.7となった。 先行指数は、前月と比較して1.1ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.04ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.30ポイント下降し、7ヵ月連続の下降となった。 一致指数は、前月と比較して1.4ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.93ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.06ポイント下降し、6ヵ月ぶりの下降となった。 遅行指数は、前月と比較して0.4ポイント下降し、3ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.33ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.04ポイント下降し、8ヵ月ぶりの下降となった。 ② 一致指数の基調判断 景気動向指数(CI一致指数)は、下げ止まりを示している。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和7年2月公表分)
(2) 県の動向	1 概 括 12月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、R2年=100)は、先行指数119.3ポイント、一致指数112.3ポイント、遅行指数116.1ポイントとなった。 先行指数は、前月(117.6ポイント)を1.7ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 一致指数は、前月(109.6ポイント)を2.7ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 遅行指数は、前月(116.1ポイント)から前月差が0.0ポイントとなった。 2 一致指数の動向 寄与度がプラスの系列 鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数、生産財出荷指数、有効求人倍率 寄与度がマイナスの系列 建築着工床面積(鉱工業)、雇用保険受給者実人員、所定外労働時間指数(全産業)、百貨店・スーパー販売額(既存店) (福島県「福島県景気動向指数」令和7年2月公表分)

Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和7年2月時点

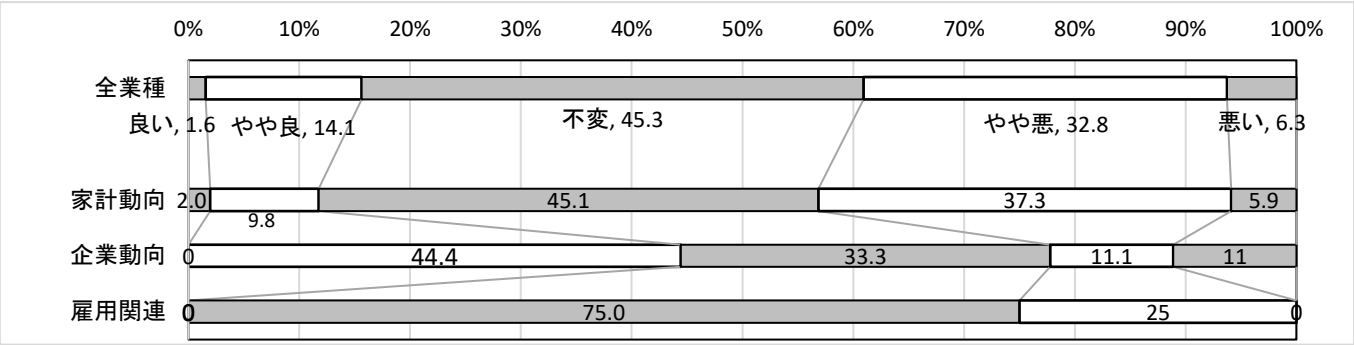
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは43.0と、前回より4.3ポイント低下した。内訳では、企業動向が上昇し、家計動向、雇用関連が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が41.2と前回より5.4ポイント低下した。家計の内訳では、小売、飲食、サービス、住宅関連のすべてで低下した。企業動向は52.8と2.8ポイント上昇し、雇用関連は43.8と6.3ポイント低下した。
- ※ 数字の表記について、原則、表示単位未満で四捨五入しているため必ずしも一致しません。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は1.6%であり、「やや良くなっている」が14.1%、「変わらない」が45.3%、「やや悪くなっている」が32.8%、「悪くなっている」が6.3%となった。



(2) 現状判断の理由

現状判断の理由として、家計動向では「販売量の動き」、企業動向では「受注量や販売量」「取引先の様子」、雇用関連では「求人数の動き」「求職者数の動き」などが挙げられた。

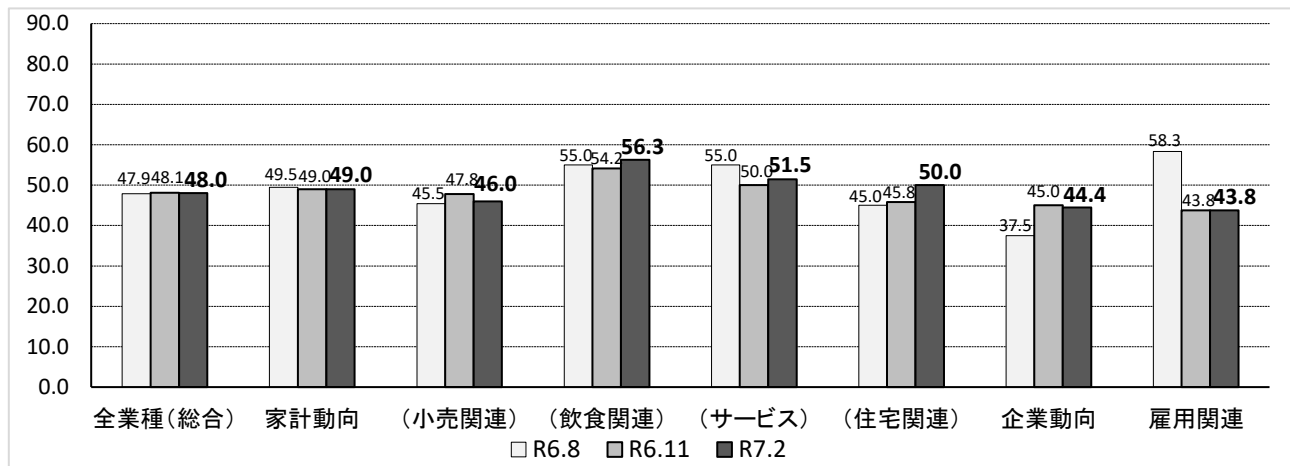
項 目 (家計)					項 目 (企業)					項 目 (雇用)				
良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計	
1. 来客者数の動き	2	9	7	18	1. 受注量や販売量	3	0	0	3	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	3	6	10	19	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	1	0	0	1	3. 取引先の様子	0	2	1	3	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	5	3	8	4. 競争相手の様子	1	0	1	2	4. 周辺企業の動き	0	0	1	1
5. 競争相手の様子	0	1	1	2	5. その他	0	1	0	1	5. その他	0	1	0	1
6. その他	0	2	1	3										
合 計	6	23	22	51	合 計	4	3	2	9	合 計	0	3	1	4

2 景気の先行きについて

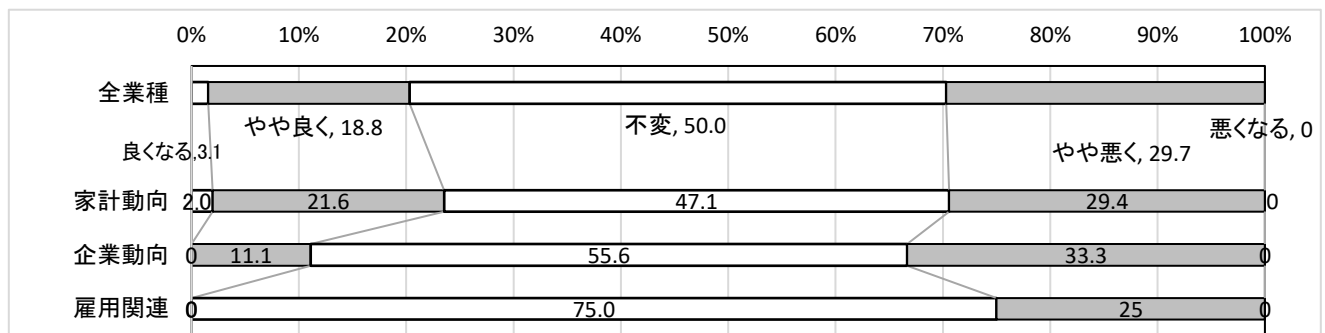
(1) 先行き判断DI

○ 全業種（総合）の先行き判断DIは48.0と、前回より0.1ポイント低下した。内訳では、企業動向が低下し、家計動向、雇用関連が保ち合いとなった。

○ 主要業種別では、家計動向が49.0と前回と同水準であった。家計の内訳では、飲食、サービス、住宅関連が上昇し、小売が低下した。企業動向は44.4と0.6ポイント低下し、雇用関連は43.8と前回と同水準であった。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が18.8%、「変わらない」が50.0%、「やや悪くなっている」が29.7%、「悪くなっている」が0%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「求人数の動き」「求職者数の動き」などが挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	6	10	4	20	1. 受注量や販売量	0	0	1	1	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	3	8	4	15	2. 受注価格や販売価格	0	1	0	1	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	1	0	1	2	3. 取引先の様子	0	4	2	6	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	4	5	10	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	0	1	1
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	1	0	0	1	5. その他	0	1	0	1
6. その他	1	2	1	4										
合 計	12	24	15	51	合 計	1	5	3	9	合 計	0	3	1	4

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(街の様子)

- 3月は市外へ転出する方が多いのでこれから来客数も少なくなると思う。
- 駅前商店街の人通りが年々減少していつている。
- 日中店の前を歩く人がほんとうに少なくなった。

(物価高騰・人材不足など)

- 相変わらず、人材不足・物価高騰に苦しんでいる。
- 仕入れ、物価、賃金高と人手不足が続く。
- 原材料、人件費、その他経費の高騰が、値上げなどでカバーできない。
- 物価高騰やインフルの流行、長引くコロナ感染など全体的に世の中の雰囲気が悪く、少しでも明るい方向に…。また、景気の回復を願うばかりである。
- 物価上昇により、買上点数が昨対割れが続いているので、やや悪い状況が続いている。客数は昨対横這い、単価は物価上昇より昨対増が続いている。
- 生コン出荷は全県で縮小しており、いわき市でも生コンを使う公共工事は少ない。又急激な物価高に生コン価格が追いついていない。石油燃料に対しては、燃料油価格激変緩和対策事業終了になって、燃料価格上昇により出荷数の減少と粗利の減少がしばらく定着しそうだ。
- 最低賃金UPによる景気への影響としては、103万円の壁があるので、11 - 12月は勤務時間を調整（短く）して、帳尻を合わせているので、実質賃金は下がっていると思われる。1月は12月の賃金支払いが主なので、2月以降に最賃UPの影響があれば良いと考える。
- 賃金も含め経済・景気全般に言えることは、今後益々「企業間格差」「地域間格差」「業種内格差」が拡大していくという事である。

(地域経済・産業動向)

- 経営相談を通じて、少し前までは金策の相談が多かったと感じる。しかも「今すぐに運転資金が欲しい」といった内容だが、「喫緊の融資の相談」というものが、ここ数カ月は1件もなかった。
- 事業者は様々な戦略で新たな取り組みをすること、公的施策（補助金のみならず、今年度は厚労省の助成金：業務改善助成金、キャリアアップ助成金等）を活用するといった傾向がみられる。
- タクシー業であるが、去年は、プレミアムタクシー券、二種免許の補助金が助かった。

－ いわき市景気ウォッチャー調査の概要 －

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連72人、企業動向関連22人、雇用関連8人の合計102人を調査客体とする。

今回（令和7年2月）の調査の回答数は64人（有効回答率62.7%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	72人	71%	51人	
小売関連	31人	30%	25人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	8%	4人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	24人	24%	17人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	9%	5人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	22人	22%	9人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	8%	4人	人材派遣、職業紹介等
合 計	102人	100%	64人	

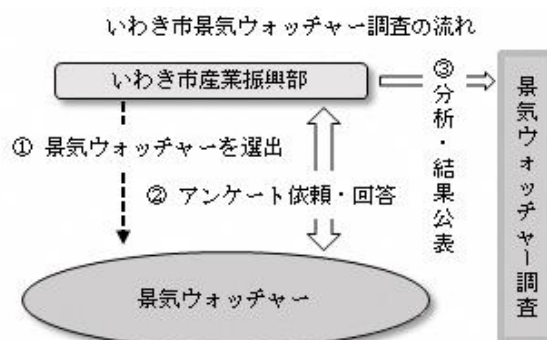
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりD Iを算出する。

D Iは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3ヵ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3ヵ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）	
令和 年 月 日	
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。	
【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】 	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 7 4 7 6 (直通)
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp
